

驚異的増収

# マンモスイタリアン

## 群をぬく特性（普通種と比較すると）

- 普通種よりも3割以上の増収です。草丈高く、葉長く、葉巾も広く、巨大型品種です
- 刈取後の再生が極めて旺盛で、年間6～8回の刈取ができ、10アール当り10トン以上の平均した増収を示します。
- 分けつが多く、やゝ横に広がりますが、風雨による倒伏は少なく、傷みのない良質草を生産します
- 他の牧草との混播にも良く適し、青刈、乾草、サイレージに利用できます。（混播には普通品種より播種量を少なくすること）
- 普通種が生育衰退する盛夏時でも夏枯れの被害少く、又早ばつや病気にも強い品種です
- 葉は濃緑を呈し、栄養価値が高く、又糖分含量も多いので嗜好性も極めて優れています



## ■ マンモスイタリアンの驚異的収量

マンモスイタリアンについての試験は農業試験場、改良普及所、各県農協連その他関係機関で種々報告されていますが、いづれも普通種よりも、刈取毎に3〜4割の増収を示している。千場農場における試験成績は次の通りです。

(秋まき試験)

(昭和40年、千葉農場)

品 種 名	播 種 期 年 月 日	発 芽 期 年 月 日	生 草 収 量 (10アール当りキロ)								生草収量 合 計	収量比	摘 要	
			1 番 刈 (12.14)	2 番 刈 (4.15)	3 番 刈 (5.17)	4 番 刈 (6.6)	5 番 刈 (7.6)	6 番 刈 (8.6)	7 番 刈 (9.1)	8 番 刈 (10.1)				
普 通 種	39.9.21	39.9.27	1,410	2,520	2,250	600	1,500	360	夏枯れ	—	8,640*	100%	畦巾 60cm × 条播 播種量 2キロ (10アール当り) 施肥量 (10アール当、 キロ) 推肥 1,500 硫安20、過石40、塩加12 苦土石灰 100 追肥…… 尿素15(刈取後に分肥)	
マンモス イタリアン	"	"	1,830	2,730	2,910	1,110	2,220	840	1,050	630	13,320	154		
(春まき試験)			1 番 刈 (6.6)	2 番 刈 (7.6)	3 番 刈 (8.24)	4 番 刈 (10.1)								
普 通 種	40.3.30	40.4.7	2,640	1,800	570	夏枯れ	—	—	—	—	5,010	100		
マンモス イタリアン	"	"	3,390	2,460	1,650	1,110	—	—	—	—	8,610	172		

マンモスイタリアンは各刈取時に於いて、いづれも多収を示し、再生力も旺盛で、秋まきで普通種は、8月6日刈で再生力衰えましたが、マンモスイタリアンは8回刈の10月まで刈取可能となり、多肥によっては、更に増収が期待されます。

## マンモスイタリアンの使い方

マンモスイタリアンはとくに大型多収品種として、育成されたものであるので、その特性を充分に発揮させるように使うのが秘訣です。水田裏作や、輪作畑に、青刈、乾草、サイレージ用として短期間に集約的に増収することが大切です。このためには、とくに肥料を多量に与えることが必要です。多肥によって、10アール当り15〜20トンを生産している例がたくさんあります。

(その他の栽培方法については、普通種に準じます。5頁ライグラスの栽培参照)



5月上旬のイタリアンライの再生状況  
左 普通種、右 マンモス (千葉農場)

## マンモスイタリアン利用者の声！

岡山県：水島牧場

岡山県津山で兄弟3人で経営している水島牧場では、土壤気候条件の不利にもかかわらず合理的な酪農経営で大きな成果をあげています。とくに自給飼料の生産には意欲的で、適品種の選定、播種期による収量の増減やその地帯に適した増収法などを究明しています。イタリアンライグラスは、水島牧場の自給飼料増産の主体をなしているが、この大型品種であるマンモスイタリアンは、試験成績の好結果から、数年前から利用しています。昭和39年の成績では、普通種より2割の増収であったが、昭和40年の6月で、すでに3回刈を終え、5〜6割増収と云う驚異的な収量を得、自給飼料の増産の自信を大きくしています。勿論、生産費も大巾に低減され今後在来のイタリアンライからマンモスイタリアンに代ることは遠くないと云っている。

